

男子

御殿場



県高校新人バスケットあす開幕

第37回県高校新人バスケットボール大会が20日、沼津・飛龍などで開幕する。男子は御殿場(東部9位)が初出場。同日の初戦で実力校の浜松開誠(西部1位)と対するが、チームは近年めきめきと力をつけ、地区予選突破を自信に込めてジャイアントキリング(大番狂わせ)を狙う。男女上位3チームは、来月開催される東海新人大会(岐阜)に駒を進める。【倉橋徹也】

テレビ13面

編集局静岡版担当

37大会目にして初 地区予選突破自信にかえる

1950年には部が存在していた御殿場が、37大会目にして初の県出場を果たした。チーム5年目を迎える生越(おごせ)寛道監督(53)の指導で、攻守の実力がアップ。現役時代の88年などに団体出場し、99年国体では5位入賞した実力派指揮官の手腕に鍛え上げられた。地区予選9位決定トーナメントでは、なかなか勝てなかった松崎を70-60と破り、自信をつけた。勢いにのると下田(84-62)を倒し、同決勝では星陵(82-74)を退けた。

新チームは185センチC庄司純登(けんと、2年)と179センチC中野海球空(あくあ)アントニーエ(2年)のツインセンターを採用した。「2人が攻守の鍵を握る」と指揮官。中学時代にバスケットをしてきた庄司は「リバウンドをしっかり取ることを意識したい」と高さを生かしてゴール下を支配する。セルビア人の母をもつ中野は「走って積極的に得点もしたい」。強みのスピードやフィジカルを生かす。

1年生組では、マルチプレイヤーのF森山蓮太郎が「相手に全力で挑み、今後につながる戦いにしたい」と話せば、中3時に相撲で県優勝し今も四股を踏む二刀流C横山悠貴(1年)も「チームがピッチの時、体を張って助けたい」と意気込む。頼れる主将のG芹沢惺瑛(しようえい、2年)は先月、断裂した前十字靭帯(じんたい)を手術。今大会はベンチからの応援になるが「大事にしている声出して意思疎通をはかりたい」と力を込めた。

昨チームから受け継ぐスピードイイなチーム守備からの速攻を武器に、「試合を重ねるごとに成長を続け、伸びしろは未知数」(生越監督)というチームが、台風の目を目指す。

伸びしろ未知数

選手らを指導する御殿場の生越監督

実戦練習でシュートを放つ御殿場の庄司

◆御殿場のメンバー◆

背番号	選手名	学年	出身	身長
21	G 芹沢 惺瑛	2	原 里	167
22	G 水梨 望	2	富 士	163
23	G 鈴木 孔士	1	岡 岡	173
33	C 横山 悠貴	1	御 殿	171
36	C 中野 海球	2	山 山	179
44	G 芹沢 英祥	1	北 郷	164
69	C 庄司 純登	1	富 岡	185
77	F 森山 蓮太郎	1	御 殿	174
88	G 志村 大	1	御 殿	171
99	G 湯山 翼	1	東 南	171
00	F 下山 礼	1	泉 長	175

※学年の白抜きは主将。身長はセンチメートル

写真お分けします◆静岡版掲載写真をお分けします。〒104-8055東京都中央区築地3-5-10、日刊スポーツ新聞社フォト